



新年を迎えて

茨城県知事 友末洋治
茨城県統計協会 総裁

新年おめでとう存じます。

ここに終戦後十年目の初春を迎えたのでありますが、いわゆる一昔にわたる荆の過去の歴史を顧み、静かに将来の発展を思いますとき、「今年こそは」の大きな希望と決意とが心の奥底からにじみ出るのを禁じ得ないのであります。

さて昨年は緊縮政策の推進に伴い、調査統計事業は各種の困難な条件を招来したにもかかわらず、関係各位の御精励と御協力によつて、所期の目的を達成することができましたことはまことに御同慶に堪えません。

今や内外の諸情勢はますます複雑多岐をきわめておりますが、まことに本年こそ、新生の一大転換の年として、われわれはあくまでも社会正義とその秩序を尊重し、自主独立の精神と県民協和の気風を高揚するとともに、資源の開発と食糧の増産を図り、他面能率の向上と生活環境の改善合理化に努めて、平和で明るい福祉茨城振興への力強い第一歩を踏み出したいと存じます。

そしてあくまでも県民諸君の協調融和と勤労精神を基調として、公正明朗な茨城県政の確立と二百万県民の福祉増進のために、あらゆる努力を傾注する覚悟であります。

しかしこれが理想実現のためには、常に各分野にわたる現状を迅速かつ的確に掌握して、これに科学的な検討を加え、あくまでも総合的な立場から、最も有効適切な施策を講じなければなりません。

これには従来ややもすれば、軽視されやすい調査統計機能を全面的に発揮し、その充実強化に努め、更に関係機関との緊密な協力のもとに調査統計事業をして真に県政の礎石たらしめたいと思います。

ここにわれわれ調査統計関係者の自覚と責務の重大さが痛感されるのであります。

どうか本年もこの重要性を了とせられ、本県における調査統計事業の発展のために、各位の一層の御研究と御活躍を念願して年頭のあいさつといたします。